

ミロシュ・フォアマン監督作品

[illegible]

天才なのか、異才なのか!?
世間を騒がせ、傷つき、それでも夢を見続けて
わずか35歳でこの世を去った
孤独なエンタティナー——アンディ・カフマン。
その「笑い」がいま、新しい!

「カフマンは常に見る者に考える 余地をあたえたがったが、この映画はその望みを達成している」『ニューズウィーク』デビッド・アンセン

「とてつもない作品だ」『ニューヨーク・タイムズ』ジャネット・マズリン

「キャリアは、秀れた演技でシリアス俳優としての新生面を見せつけた」『フィルム・ジャーナル』ケヴィン・ラリー

「今年一番楽しめた映画」『ニューヨーク・ポスト』ルー・ルメニク

名匠ミロシュ・フォアマンがジム・キャリアとともに 現代に贈る、感動のラブ・ストーリー



マン・オン
ザ・ムーン



We love Andy!

ジム・キャリア

ロビン・ウィリアムス

アンディの創った最高にイカすキャラがトニー・クリフトンさ。すごく嫌な奴なんだけど、おもしろい。でも、アンディは自分がトニーであることを否定し、トニーはアンディを知らないというんだ。●●●●●
いくらお互いが否定しても、みんな2人が同一人物だって分かってるのさ。●●●●●
でも後半は、友人のボブ・ズムダが扮してたのさ。●●●●●
アンディはボブ扮するトニーを家で笑いながら見てたんだよ。●●●●●

テレビ番組が大当たりしてスターになったのに、今度はレスリングを始めたんだ。●●●●●
女性とのレスリングは大騒ぎ。彼は会場の人々に嫌われまくったんだ。●●●●●

STORY

熱い涙を流す、その前に拍手を…。

やっぱり“人間”で素晴らしい!

アカデミー賞監督ミロシュ・フォアマンが、鋭い洞察力で紡ぎだすドラマチックな感動。「トゥルーマン・ショー」に続き、2年連続のゴールデングローブ最優秀主演男優賞を獲得したジム・キャリアが、「ラリー・プリント」で好演を見せたコートニー・ラヴと、摩訶不思議な生き方の奥底に秘められた、哀しくも切ない愛をスクリーンに刻みつけ、観客の胸を揺さぶる。そして、そっと語りかける…誰にも理解されなくとも、たった1人、愛する人の微笑があれば、想いはきっと報われる、信じることの大切さ、そして愛の強さを。

ハリウッド・1980年代——観客を心

から愛し、それ故に全身全霊を賭けてパフォーマンスを繰り広げた“孤独”なエンタテイナー＝アンディ・カフマン。新しすぎた、そのパフォーマンスは親友・家族さえも信じられず、まして観客には理解されなかった…。しかし恋人リンだけが彼を支え、そして愛し続けた。

「マン・オン・ザ・ムーン」は、わずか35歳でこの世を去ったアンディの、誤解と中傷と謎に満ちた伝説の生涯を、恋人リンのまなざしから描いた感動の物語。TV・舞台の超人気者から鼻つまみ者へ、アンディがたどった破天荒な生き方の、何が真実で、何が仕掛けなのか…

誰にもわからない。ただリンだけは、彼の本当の素顔を知っていた。



第52回 ゴールデングローブ賞
最優秀主演男優賞・受賞



第50回 ベルリン映画祭「銀熊賞」・受賞

ボストン映画批評家協会 最優秀主演男優賞・受賞

全米映画編集者協会 最優秀編集賞・ノミネート

全米俳優組合 最優秀主演男優賞・ノミネート



R.E.M.のマイケル・スタンプがアンディに扮した
メインテーマ:「マン・オン・ザ・ムーン」
サントラ盤CD: R.E.M. (ワーナーミュージック・ジャパン)

UNIVERSAL MARUBENI TOWNSHIP FILMS

「カッコーの巣の上で」でアカデミー最優秀作品賞・最優秀監督賞★受賞 ミロシュ・フォアマン監督
共演: コートニー・ラヴ/ダニー・デビート
丸紅/東宝東和/ミュージカル・フィルム・カンパニー/ユニヴァーサル映画 提供 ジャーニー・フィルムズ/シネハウス・プロダクション 製作/アメリカ映画